

教科ごとの出来合いの問いと答えを勉強する教育



すべての児童に「自由の相互承認」の態度を育むことを土台に、自由に生きるための力を育む教育

自力解決や協働解決の素地が育っている理由をつけて自分の考えを表現できる。

*自由の相互承認 私たちが生きたいように生きるために、お互いに自由な存在であると認め合うこと

「主体的な学び」とは 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次へつなげる学び

「対話的学び」とは 子ども同士の協働、教職員や地域のひととの対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学び

「深い学び」とは 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出し解決策を考えたり、思いや考えをともに創造したりすることに向かう学び

Table with columns for subjects (国語, 算数, 生活, 音楽, 図画工作, 体育, 特別道徳, 学級活動, 特別活動) and months (April to March). Includes learning objectives, activities, and assessment data.

Summary table with columns for 1st, 2nd, and 3rd terms, and total hours for each subject.